

平成 30 年度
教科に関する科目
国 語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は 2 問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1 問につき 1 枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号, 氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 「小学校学習指導要領」（平成20年文部科学省告示第27号）の「第2章 第1節 国語」では、〔第5学年及び第6学年〕の「2 内容」「A 話すこと・聞くこと」の指導事項として、「オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。」が示されている。これを踏まえ、〔第5学年及び第6学年〕における、話し合うことに関する指導を構想する際、その授業内容や留意点について、具体的な手立てや言語活動に触れながら、句読点・記号も含め600字以内で論述しなさい。（540字を下回らないこと、また解答欄への記述に際し、段落を設ける必要はない。）

問2 「小学校学習指導要領」（平成20年文部科学省告示第27号）の「第2章 第1節 国語」の〔第5学年及び第6学年〕の「B 書くこと」の言語活動例に「ア 経験したこと，想像したことなどを基に，詩や短歌，俳句をつくったり，物語や随筆などを書いたりすること。」とある。この指導を行う際に，「写真」を活用することで言語活動を充実させる方法が考えられる。その場合の具体的な授業内容について，句読点・記号も含め600字以内で論述しなさい。（540字を下回らないこと，また解答欄への記述に際し，段落を設ける必要はない。）